

ベリカット v9.0 の新機能ハイライト

■ グラフィック表示の機能強化

ベリカット 9.0 で大幅に強化された画像品質でさらにシャープで鮮明なビューが提供されるため、機械加工されるワークでの問題や欠陥を簡単に見つけられます。

単一のビューで最適なパフォーマンスのシミュレーションを実行します。材料ビュー、機械ビュー、旋盤ビュー、あるいは最適な表示のビューレイアウトを、シームレスに切り替えます。

■ ベリフィケーションの合理化

オートディフ、材料の切断、X キャリパーなどのベリカットの主要な機能はどのビューでも使えるため、検証作業の合理化、生産性の向上が実現できます。

■ カラー表現の設定

カラー表現の設定には部品とモデルの「カラー」オプションが付随していて、ベリカットシミュレーションで使う物体に、リアリズムを付加できます。よく使う材料のリストを用意していて、NC マシン、切削工具、治具、機械加工されたワークをよりリアルに見せるために使えます。また、エラーやまちがった切削を簡単に識別できます。

■ 透過度の機能強化と新しい「材料／設計モデルのビュー」

半透明の材料に埋め込まれている設計モデルをすばやく表示する機能を追加し、設計モデルや切削材料モデルでのオートディフの削り過ぎや削り残しを表示します。透過度はマシン部品や材料モデルに対し適用でき、[ビュー]タブにある「透過度」スライダーで調整できます。透過度は前述のカラー表現を使って個別に設定することもできます。

■ X キャリパーの機能強化

X キャリパーに新しい測定と機能をいくつか追加して、測定(寸法)の表示方法をさらに細かく制御します。これには、補角、直径／半径、カラーやフォントも含まれます。寸法を含む画像は、印刷、画像ファイルへの保存、図面の作成で利用できます。

■ 図面の作成

「図面の作成」の新機能により、寸法や注記を使ってシミュレーションからのイメージをこれまで以上に簡単に作成できます。これは別の人が製造工程を理解するのに役立ちます。図面の作成はベリカットのレポートとの連携が簡単で、オペレーションのセットアップや機械加工されるワークがさまざまな段階でどのように見えるか、文書化できます。

■ 新しい[材料の切断]ウィンドウ

新しい[材料の切断]ウィンドウは、切断面のダイナミックな位置指定と角度の修正によって使いやすくなります。切断する平面の定義方法に関するオプションがいくつかあり、それらは、3/4 切断面表示の簡単な作り方、どの物体を切断するか、どのビューで切断された物体を表示するかのコントロールなどです。

■ マルチ工具ステーション

新しいマルチ工具ステーションという工具部品が、工具マネージャーに追加されます。ユーザーは複数の工具を単一のタレットステーションに取り付けて保持する装置を設定できるようになります。マルチ工具ステーションは工具マネージャーで全体を設定できます。また、新しい[工具交換リスト]ウィンドウを介してプロジェクトで変更することもできます。

■ 新しい[工具交換リスト]ウィンドウ

[工具交換リスト]ウィンドウが機能強化され、グラフィックを使ってタレットやツールチェーン上で工具を設定する機能や、「フラッシュ」多機能工具の向きを定義する機能などができます。工具交換の情報はプロジェクトファイルに保存され、ベリカットの工具ライブラリーの工具は他のプロジェクトや他のユーザーが使用できるよう、「中立」状態を保ちます。

■ コントローラファイルの新しいタイプ

新しいコントローラタイプとして、アドオンとカスタムが導入されます。新しいコントロールファイルのタイプはベリカットの「基本」コントローラから参照され、それと統合されます。その結果、さまざまな CNC マシンのメーカーアドオンやカスタム NC コード処理をより迅速かつ簡単に構成できます。また、将来、更新する場合も簡単です。

■ レビューアーアプリの機能強化

ベリカットのレビューアーアプリには、ベリカットベリフィケーションと同じ機能強化版グラフィックエンジンを搭載しており、ユーザーは劇的なパフォーマンス向上がすぐにわかります。